

MiYAGOSTINI

腎機能に注意が必要な薬剤④ ビタミンD製剤

こんにちは！『MiYAGOSTINI（ミヤゴスティーニ）』第4弾です！

蒸し暑い日々が続きますね。熱中症には十分ご注意ください！今回のテーマはビタミンD製剤です。この季節にぜひ注目いただきたい薬剤の1つです。腎機能を確認する最初の一步として、MiYAGOSTINIをぜひご活用ください！

CKDシール
黄色

CKDシール
赤色

	GFRまたはCCr (mL/min)						透析
	60	50	40	30	20	10	
アルファカルシトール	①慢性腎不全、骨粗鬆症：1日1回0.5～1.0 μg ②副甲状腺機能低下症、その他のビタミンD代謝異常に伴う疾患：1日1回1.0～4.0 μg						①②腎機能正常者と同じ（添付文書より） 高カルシウム血症および高カルシウム血症による腎機能悪化に注意する ①1日1回0.25～1.0 μg 血清カルシウムの迅速な補正を目的とする場合を除き、CKDでは1日0.25 μgも選択でき、血清カルシウム濃度を評価しつつ調節する（※）
エルデカルシトール	1日1回0.75 μg。1日1回0.5 μgに減量可						腎機能正常者と同じ （高用量では特に）高カルシウム血症および高カルシウム血症による腎機能悪化に注意する
カルシトリオール	①骨粗鬆症：1日0.5μgを分2 ②慢性腎不全：1日1回0.25～0.75μg ③副甲状腺機能低下症、その他のビタミンD代謝異常に伴う疾患：1日1回0.5～2.0μg						①②③腎機能正常者と同じ （高用量では特に）高カルシウム血症および高カルシウム血症による腎機能悪化に注意する
ファレカルシトリオール	①副甲状腺機能低下症、クル病・骨軟化症：1日1回0.3～0.9 μg						①腎機能正常者と同じ （高用量では特に）高カルシウム血症および高カルシウム血症による腎機能悪化に注意する 維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症：1日1回0.3 μg 高カルシウム血症に注意する

（※：現時点で情報は限られているものの、日本腎臓病薬物療法学会として提案している使用方法）

詳細

- ・CKD患者は骨折リスクが高いです（非CKD患者の2.12倍）。そのためVD3製剤がよく処方されますが、高カルシウム血症になる確率も高いと言われています。
- ・上記のようなVD3製剤を服用されている場合、高カルシウム血症の症状（食欲低下、嘔吐、倦怠感、脱力）についての指導も必要です。
- ・夏場は特に、脱水による高カルシウム血症に注意が必要です。
- ・またエルデカルシトールに関しては、3～6か月に1回程度の血清カルシウム値の測定がPMDAより推奨されています。

見落としがち！サプリメント

- ・骨を丈夫にしたいと飲み始める患者さんもいます。
- ・しかし、医薬品ですでにカルシウム剤やVD3製剤を服用している場合もまれにあり、いつのまにかカルシウム剤が重複…なんていうことも。
- ・さらにサプリ同士でカルシウムやVD3の重複もみられることもあるため、注意が必要です。

指導時のワンポイント！

- ①まずは腎機能を確認
- ②水分摂取の推進
- ③サプリメントの有無
- ④高カルシウム血症の症状確認

編集後記

先日のアンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました！様々なご意見を頂戴し、制作者の励みとなりました。これからもより多くの方に読んでいただけるよう精進します！よろしくお祈りします。
（富士宮市立病院 A.I）